

品質保証システム監査結果の概要

確認項目	原燃工	メロックス工場
品質マネジメントシステムがISO 9001:2000等の要求事項に基づき構築・維持されていること	品質マニュアルを作成・維持し、文書・記録の管理等の仕組みを定め維持している。 トップマネジメントが積極的に品質に関与する仕組みとなっている。 メロックス工場に派遣する要員の力量管理を行う仕組みとなっている。 ウラン燃料製造ノウハウをMOX燃料製造に展開している。	品質マニュアルを作成・維持し、文書・記録の管理等の仕組みを定め維持している。 トップマネジメントが積極的に品質に関与する仕組みとなっている。 品質保証の少人数教育を実施している。 リスク評価に基づくプロセス監視および内部監査を実施している。
製造管理（原燃工）および製造（メロックス工場）の業務プロセスとして、原燃工はメロックス工場を適切に管理・指導する仕組みになっていること、及びメロックス工場は原燃工の要求事項を適切に製造プロセスに反映する仕組みになっていること	計画から本格製造の各段階毎に、加工メーカーに対し、必要な計画書、報告書等を提出させ、審査、承認する仕組みを構築している。 燃料集合体の組み立て前に、加工メーカー作業員に対し、模擬燃料組み立てによる訓練、認定試験を行うなど教育、訓練の仕組みが構築されている。 製造時の立会検査、定期的なサーベイランス、工程監査、巡視等を行うなどの仕組みが構築されている。	計画から本格製造の各段階ごとに必要な計画書、報告書等を定め、それらを作成、審査、承認し、元請会社に適切な時期に提出、承認を受ける仕組みが構築されている。 製造管理オンラインシステムによって、誤った手順書の使用、作業ステップの間違い等の人的ミスを防止する仕組みが確立されている。
BNFL問題再発防止対策を適切に反映する仕組みがあり、今後具体的な対応を取ることにしていること	各組織の責任と権限が明確に定められている。 異常時連絡体制の確立等、当社の求める再発防止対策に対し、具体的対応の用意がある。	設備の自動化、データセキュリティーの確保がなされている。 各組織の責任と権限が明確に定められている。 異常時連絡体制の確立等、当社の求める再発防止対策に対し、具体的対応の用意がある。
輸入燃料体検査制度に適合するため、当社の要求事項を適切に反映する仕組みがあり、今後具体的な対応を取ることにしていること	製造期間を通じ、加工メーカーが当社派遣員を受け入れることについて、合意が得られている。 第三者機関活用を加工メーカーが受け入れることについて、合意が得られている。 規制当局（原子力安全・保安院）による当社派遣員の活動状況調査を加工メーカーが受け入れることについて合意が得られている。	製造期間を通じ、当社派遣員を受け入れる用意がある。 第三者機関活用を受け入れる用意がある。 規制当局（原子力安全・保安院）による当社派遣員の活動状況の調査を受け入れる用意がある。

製品の品質に影響を与えない軽微な改善要望事項が一部（原燃工で9件、メロックス工場で2件）認められましたが、両社から改善実施計画の提出を受け、その改善実施状況については、今後、確認を行っていくこととしています（原燃工については、改善完了を確認済み）。